



平成20年の新春を迎えて

宮崎 浩平

明けましておめでとう御座います。

新春を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。旧年中はプロバスクラブの活動に絶大なるご支援を頂き誠に有難う御座います。本年も宜しく願い申し上げます。

さて、今年の干支は戊子です。一般的に「一陽来復」希望の光明がある、万事に漸進のある年と云われております。振り返って考えますと、昨年は世相において暗い話題が多かった年であったと思います。新しい年は早くこの様な状態を脱却し、明るい年になりたいと誰もが願っていることでしょう。この明るさを取り戻す機会として今年は北京オリンピックがあります。私ごとではありますが私は昭和11年、前畑頑張れ！のベルリン・オリンピック生まれの子年です。過去の6回の子年のオリンピックでは数多く選手が活躍数しました。国威高揚の誠に縁起のよい年だと期待いたしております。きっと好成績の年になるでしょう。

プロバスクラブは皆様の常日頃の積極的な取り組みにより地道に実績を作って参りました。多くの人たちから親しまれ、2月より始まります生涯学習サロンも12回を重ねることが出来ました。生涯学習サロンこそ、私達プロバスクラブのアイデンティティーであり、自分たちの生きた経験をもって、今年も自信をもって活動して行きたいと考えております。

最後に今年はプロバスクラブの躍進の年ありますことを祈念致し年頭の挨拶とさせていただきます。

第146回例会

日時：平成19年12月13日(木)12:30~14:30

場所：八王子エルシィ

出席者：55名(会員総数68名　うち休会2名)

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶

・本日のご来賓、八王子南ロータリークラブの清水会長、広瀬前会長および2人の新入会員をお迎えいたしました。

・懸案でありました関東ブロック交流会を11月29日お茶の水のTKP ビジネスセンターで開催、参加は、品川、群馬おうら、わたらせ、横浜、鎌倉、東京多摩、川崎西、八王子の8クラブ。各クラブの活動状況報告や全日本協議会の近況報告等がな

された後、意見交換に移り、今後の交流会の進め方等について討議しました。今回当クラブがホスト役を務めたので次回はどこか他のクラブでと働きかけましたが、結局八王子でもう一度と要請されました。

3. ご来賓挨拶

東京南ロータリークラブ会長 清水宣彦様

当クラブの活動状況を聞き、アクティブな活動と感じうらやましく思います。展示の写真もすばらしく、野外研修など外に出での活動もすばらしい成果を挙げておられます。

来年4月に両クラブの交流ゴルフ会開催を提案いたしたい。

石油価格が高騰し、ガソリンもさらに上がりそ

うな心配にあり、諸物価の高騰による日本経済への影響を懸念。また、国会で新テロ対策特別措置法案が審議されているが、個人としては、いろいろな角度から考えて、わが国の安全確保のためにも同法案の成立を願っています。

4. 新入会員紹介 高取和郎氏 竹内賢治氏

紹介者 杉山友一会員

高取和郎氏は、昭和 10 年生まれの地元出身。薬剤師として東京都立府中病院ほか多くの都立病院に勤務した。現在は趣味の陶芸やボーイスカウト、地域の子ども育成会などボランティア活動。

竹内賢治氏は、昭和 7 年生れ、伊藤忠商事に 35 年勤務、金沢支店長から国内だけで 260 もの店舗を持つラーメンチェーン店の「株式会社ハチバン」に出向、社長として会社のジャスダック上場を果たされた。特技は ISO の環境監査。

ご両人とも明るい、お元気な方々です。

新会員 高取氏：趣味の旅行とか陶芸を楽しん



いる毎日ですが、今回当クラブに入会させていただき、会員の皆様からいろいろなお話がうかがえることや、

地域貢献をはじめ諸活動の

お手伝いができることを楽しみにしております。紹介のお話の中にありましたように、長い病院勤めの中で、病院の新設に打ち込んだ日々が多く、薬のことを知らない薬剤師と自称しています。

新会員 竹内氏：8 月に 17 年間住み慣れた金沢を



はなれて、息子の住む八王子(めじろ台)に移ってきました。金沢では長くロータリー活動を続けてきましたが、今回はじめ

ての八王子にきて、ロータリーのことも考えましたが、開催頻度、活動内容など当プロバスクラブの活動をうかがい、年齢のことも考慮して、このたび入会させていただいた次第です。趣味は仕事です。仕事さえしていれば、老化防止にもなるものと確信しています。

5. 幹事報告 (山崎幹事)

(1) 会員動向 前記出席者欄記載のとおり。

(2) 対外活動

・ 関東ブロック交流会： 会員 13 名が出席。

・ 第 28 回いちょう祭り： 会員 26 名の協力を得て祭りの円滑進行に貢献。通行手形 400 枚も完売。残念ですが、古川会員が手伝い中に足に怪我をされ 10/3 まで入院されました。

6. 各委員会報告

(1) 例会委員会 浅川委員長

・ 1 月例会は 10 日 17 時からエルシィ 4 階にて例会と新年会を開催。卓話は新年に因み河津琴道氏の「講談」。

・ 後半期の会費 18、000 円と活動準備資金 2、000 円をご用意ください。

(2) 情報委員会 八木委員長

・ 生涯学習サロンでの後援を市と市教育委員会に依頼し了解を得た。市の広報紙「ひろば」1 月 15 日号にサロンの記事が載る予定。

・ 「プロバスだより」に会員の活動、随想などの原稿をお願いします。

(3) 研修委員会 荒委員長

野外研修は 47 名参加。(会報 145 号参照)

(4) 地域奉仕委員会 阿部委員長

・ いちょう祭りのご協力に感謝。

・ 第 12 回生涯学習サロンの調査表に希望を記入のうえ、本日または次回ご提出ください。

・ 5 月 8 日の野外サロンは歴史、文化、花の町「足利」に行きます。

7. 報告その他

(1) 写真同好会 下山委員

本日の写真展示は、「巾着田の彼岸花」です。「奥多摩の紅葉」は次回例会会場です。

(2) 楽々 IT 塾 矢崎委員

1 月 7 日は休講、2 月 4 日(月)は、午前中のみです。

(3) 「とんとん地藏尊の建立」佐々木研吾委員



このほど高尾山麓の不動院前に「とんとん地藏尊」が建立され、10 月 11 日開眼法要が執り行われました。このお地藏さまは、第 7 回の生涯学習サロン開講式で特別講話「八王子のとんとんむかしばなし」をいただいた民俗学者の故菊池正氏の功績、遺徳を偲んで、約 350 名の有志

によって建立されたものです。

高尾山を訪れた折には、足を止められ、温顔の、やさしいお姿に接していただければと存じます。

8. 卓話 立川富美代会員(本文のあとに掲載)

9. プロバスソング斉唱

10. 閉会挨拶 矢島副会長

八王子南ロータリークラブ清水会長が同じ趣味の仲間4人と風景写真展を近くのギャラリーで開催していますので、ご覧いただければと存じます。

年が明けますと、わがクラブの一大イベントである生涯学習サロンが始まります。引き続き会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(例会記録 佐々木 正 撮影 市川昌平)

卓話

「近くて遠いモンゴルあれこれ」

会員 立川富美代



本日は、「卓話」というよりモンゴルについて見聞してきたことを「放談」としてお話させていただきます。「近くて遠いとは」飛行機

に乗って成田から4時間で首都ウランバートルに着くというのに、日本人は相撲の朝青龍くらいしか知らないのではないかと思います。遠い国です。モンゴルは、もとは一緒だった中国の「内モンゴル自治区」もありますが、ここでの話は、独立の共和国である「モンゴル共和国」のことです。

私は10年前に当クラブの桂会員による現地支援ボランティア活動の手伝いをさせていただいたことがきっかけで、モンゴルとの縁ができました。

私の友人に、アンガルさんという六ヶ国語を話す優秀な青年がおり、通訳やモンゴルを訪れたときのいろいろな面倒など、モンゴルと私たちを繋ぐ大切な役割を担ってくれています。今年は8回目でしたが、訪れる度に、日本からの友人が来たと地域の皆さんから大変な歓迎を受けております。

モンゴルは日本の4倍の面積があるのに、人口はわずか260万人です。うち約96万人がウランバートルに住んでいます。その8割の人々が3~4階建てのアパートに住み、2割はゲル(木材で作った円筒壁をフェルトで包んだ移動式の簡易住宅。

夏は涼しく、冬暖かい)に住んでいます。そんな状況ですから、きちんとした住所がある人は少なく、郵便物も各戸配布ではなく、郵便局内にメールボックスを持っていて、そこに適時、取りにっています。

モンゴルにおける貧富の差は大きく役人が待遇の最上位にあり、モンゴルでは政府や議会のトップクラスの人でも30台半ばから40台前半までと若いのが特徴です。報酬は学校の教師で月額1万円くらい、それも共稼ぎでの生活維持です。昔の日本のニコヨンを思い出しますが、日当200円をこえる程度の労働者も多いと聞いています。そんな中で車を持つ人も最近相当に多くなっています。日本の中古車が多いようですが、一方で、高級車も結構走っています。地方の悪路にはロシア製が向いているとのこと。

冬の暖房は必須なので、石炭火力発電所からの集中暖房方式で、直径1メートルくらいのコンクリート配管でアパートに送っています(ゲル住まいは各戸で暖房)。暖房に使った後の、まだ温かい湯が通る、たたみ2畳ほどのマンホールに浮浪の子供がたむろしていますが、「マンホールチルドレン」と呼ばれる気の毒な存在です。政府も救済に乗り出したようですが、ホテルの窓から孤児姿を見ると、哀れをもよおし、あらためて日本が恵まれたよい国であることを実感します。

モンゴルには地下資源が多く、石炭、銅、モリブデンなどが産出し、カシミヤ、羊毛などとともに輸出品の主力となっています。有望な地下資源については、先進諸国が開発に意欲を燃やしていて、モンゴル国と接触を重ねています。また、モンゴルの土地は凍土ですから、野菜などは中国、韓国から輸入していますが、ここ2~3年、温室栽培の野菜が出回るようになっていきます。

工業化が徐々にすすんでくると遊牧民が年々減少しますので、都市に住む人が多くなり、最近はマンション建設ブームの感があります。地震のない国とはいえ、鉄筋の量の少なさははじめ質の悪い建築構造のものが多く、安全上心配です。

次に、教育の問題ですが、ウランバートルには60の学校があり、一校3000人もの生徒がいますので、2部ないし3部授業でしのいでいます。と

はいえパソコン教育も進んでいるようですし、それぞれの学校が体育とか数学といったように特徴を持つよう努めています。6歳で入る小学校から10年の教育とそのあと2年の大学があり、裕福な子弟は日本、ロシア、ドイツほかへ留学します。また、モンゴルは周囲が陸続きということもあって、その必要性が高いからか、語学が達者なのは、日本よりはるかに上でしょう。

モンゴルは親日的な国で、ODA(政府開発援助)の関係もあり、日本に大きな期待を寄せています。私はモンゴルの言葉はしゃべれませんが、向うでは、アンガル青年ほかの親切な心で、なに不自由なく過ごすことができます。

最後に、会員の皆様も機会を見つけてぜひモンゴルにいらしてください。モンゴルを「近くて遠い」ではなく、「近くて近い」国にしようではありませんか。

投 稿

第9回

「歴史を肴に語ろう会」見学記

日時：平成19年11月27日(火)(参加者19名)

テーマ：八ヶ岳山麓で「縄文のビーナスに会おう」

見学先：諏訪大社上社本宮 尖石縄文考古館

井戸尻考古館 長円寺 風林火山館

懇親会：八ヶ岳山麓 蕎麦処「おっこと亭」



曇空ながら、天気的神様が我々にぎりぎり残してくれたこの日、一行は「縄文探し」のため八ヶ岳山麓へと向かった。いつものことだが車内は早くもヒートアップ、車窓から見る晩秋と初冬が織りなす景色など何処吹く風である。

まずは諏訪の大神さまへ様々の思いと祈りをこめてごあいさつ。社殿、老樹、御柱等その荘厳で神々しいたたずまいに心洗われる思いである。

八ヶ岳山麓は「縄文人のふるさと」の地である。動・植物・水に恵まれ、将に生活に最適の地であった。ここからは5000年前頃の生活用品、祀器等が数多く出土している。

尖石考古館では館長から1時間に亘る説明を受けた。既に歴史の猛者となったわがメンバーから鋭い質問が随所で発せられた。井戸尻考古館も同様だが、特に土器類と土偶は感動を与えてくれた。



縄文人の豊かさ、力強さ、神への敬い・恐れ、遊び心等を感じることが出来たからである。「縄文のビーナス」(国宝)、「仮面の女神」

(重文)はそうした縄文人の心のあり方を具現化した最高の制作物なのだろうと理解した次第である。

土地の名利、長円寺(1649創立)の建築物・石



仏百体観音・漬物のおもてなし、NHK大河ドラマ「風林火山」の撮影セットのある風林火山館も楽しませてく

れた。

仕上げはお定まりの「歴史を肴に語ろう会」(会場：蕎麦処「おっこと亭」)である。感動すれば、腹も空くし酒も旨い。八ヶ岳山麓は噴火による火山灰土のやせ地、昔からうまい蕎麦が作られたところである。おおよそ1時間半、「歴史と蕎麦と土地の野菜てんぷらを肴に語ろう会」が盛り上がったのは当然であった。

この余韻が帰りのバスの中まで続いたことも当たり前といえば当たり前、翌日に差し障り無いよう八王子での二次会を中止したのも必然であったとさ。「歴史を肴に語ろう会」世話人 澤渡 進

掲示板 広瀬智子会員：

- ・去る11月10日いちょうホールにて行われた「第4回子ども人権メッセージ発表会」の実行委員長として活躍されました。
- ・八王子学会誌「はちがくレビュー」第12号に“都立南多摩高等学校開校百周年に思うこと”を発表されました。

長谷川貴訓会員：

12/2～2/上旬 南米バイク旅行に出発。

1月10日ころ南米最南端フェゴ島通過予定

編集後記：今年が更に良い年になりますように。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第147回例会

日時：平成20年1月10日（木）17:00～20:15

場所：八王子エルシィ

出席者：55名 欠席11名、出席率 83% （会員総数68名、内休会2名、）

1. 山崎幹事の司会で定時に開会
2. 宮崎会長挨拶



皆様明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になりました。本年もよろしくお申し込み申し上げます。新春を迎えまして皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

今日は東京八王子南ロータリークラブから清水宣彦会長、広瀬武彦前会長がお見えになっておられます。また、例会の卓話では河津さんをお呼びして講談を伺いたいと思います。

昨年は暗い話題が多かったが、今年こそ明るい年にしたいと思います。新しい年の干支は戊子、私ごとですが、今年7回目の子年を迎えました。72年前のベルリンオリンピック、前畑頑張れの年に生まれましたが、今年は北京オリンピックの年です。星野ジャパンの野球やサッカーをはじめ数多くの選手が活躍する場で、後半はオリンピックから明るい年になるのではないかと期待しております。

東京八王子プロバスクラブは常日頃皆様方のご協力で地道に発展して参りました。そのなかで、来月から始まる生涯学習サロンは私どものクラブのアイデンティティだと思っております。

プロバスクラブも今年はより活躍出来るのではないかと、プロバス躍進の年になることを祈念して挨拶いたします。

3. ご来賓ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ会長 清水宣彦様

皆様明けましておめでとうございます。本年もよろ

しくお願いします。

プロバスクラブの皆さんは2月から5月まで生涯学



習サロンを開催なさると伺っております。交流を通じて相互啓発が行われる、これはロータリークラブでは出来ない奉仕活動だと思っ

ています。皆様力を合わせて今年1年ご活躍をお祈りしております。

4月には当クラブとプロバスクラブと合流のゴルフコンペを計画しております。楽しく1日を過ごす機会を作りたいと思いますのでご参加ください。

今年あたりからスタグフレーションも懸念されますが、元気で実りある年にしたいと願っています。南ロータリークラブとして出来ることは協力し、交流を深めていきたいと思いますので1年間よろしく願います。

4. 幹事報告（山崎幹事）

(1) 対外活動



・東京多摩プロバスラブ新年懇親会に出席。当クラブから会長、副会長、幹事、阿部理事、立川会員（全日本プロバス協議会副会

長）の5名参加。約50人の会員、会員の奥方、来賓が集まり、会員のバンドが入り、歌、歓談、福引等で、2時間半楽しく過ごし、お隣同士の交流を深めた。宮崎会長、立川全日本プロバス協議会副会長が代表挨拶・『八王子学園都市いちょう塾公開講座』於：八王子学園都市センター

1月26日（土）13:30～15:00 「ミュージカル楽しもうーその歴史と名曲の数々」 平原俊彦会員

2月16日（土）13:30～15:00 「地域学の視点で見た八王子の古代」 大野聖二会員

いずれも無料先着順

(2) 学習サロンの各委員会分担事項

我々全員が参画し当クラブの最大の行事を成功させたい。分担役割はほぼ昨年同様で、各委員長が把握しているのでご協力を。

(3) はちおうじ健康づくり推進協議会「健康づくり活動発表会」於：八王子学園都市センター

2月16日(土) 13:00～16:30 基調講演。東京医科大学八王子医療センター循環器内科医師 小林 裕

「メタボリック予防の秘策」、各団体の活動発表。(大野会員の発表の日と重なるのに留意) 出席希望者は幹事まで。

5. 各委員会報告

(1) 例会委員会 山崎幹事

委員長、副委員長欠席で山崎幹事が代行。2月度の例会は14日12時30分よりエルシィにて開催。学習サロンの参加費 2000 円を徴収するのでご用意いただきたい。

(2) 情報委員会 八木委員長

プロバスだよりの最後に「掲示板」を設けている。会員の動向、活動、行事などを逐次載せていきたい。何かあったら情報をお寄せいただきたい。ファックス、メールなどで結構。

(3) 会員委員会 杉山委員長

昨年には3人の会員を迎えたが、引き続き当クラブにふさわしい方のご推薦を待っている。

(4) 研修委員会 荒委員長

プロバス関東ブロック交流会の報告書に各クラブの活動を要約したので参考にして欲しい。昨年の野外研修は「江戸文化を楽しむ」とのテーマだったが、新年の卓話もその流れに沿って、杉山理事推薦の河津光紀氏に講談をお願いすることになった。

(5) 地域奉仕委員会 阿部委員長

生涯学習サロンの準備が進み、1月7日には案内状発送。10日から申込を受け付ける。野外サロンは当初案を一部変更し「歴史と文化の香るまち 足利名所めぐり」として栗田美術館、足利学校、鏝阿寺などを見学、八王子駅南口帰着予定は18時。第4週「パソコンと親しむデジカメ講座」はパソコンを使える会場の都合で4月24日(木)から4月25日(金)に変更。詳細は後日文書で連絡。

6. 同好会報告

(1) 楽々IT塾 矢崎会員

1月21日は通常どおり、2月4日は会場の都合

で午前のみとなる。

(2) 歴史を肴に語ろう会 澤渡会員

第10回は「学ぼう!! 八王子の江戸時代」をテーマに野口正久会員を講師として2月19日10時エルシィ地下1階「アンシャンテ」で開催。12時からは懇親会を予定。参加希望者のみ配布した用紙にご記入の上ご提出を。

(3) 茶道同好会 中野会員

2月のテーマは節分の茶会、同好会費半年分を徴収する

7. 新春特別講談(卓話タイムとして)

杉山理事による演者(講釈師)紹介: 河津光紀氏は



宝井馬琴修羅場塾の塾生(六代目宝井馬琴及び塾長宝井琴星に師事)で河津琴道を名乗る。

元朝日生命保険常務取締役、朝日生命ビル社長、

現オプティマヒューマン(株)相談役、東京西北ロータリークラブ会員

演目 赤穂義士外伝の内 「忠僕直助 誉の刀鍛冶」
(要約後述) 演者 河津琴道氏

玄人跣の見事な口演に一同聴き惚れた。

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 矢島副会長

新年最初の例会にご出席くださりありがとうございます。

今年は4年に1度のオリンピックの年です。8月の



北京は例年になく燃えるはず。世界各国から国の威信と名誉を背に受け、若いアスリートたちが熱い戦いを繰り広げ、テレビの前の私たちに素

晴しい緊張と感動を与えてくれるものと今から期待しています。

いささか歳を重ねてきた私どもにとって青春とは得てして若者の特権と思いがちですが、サムエル・ウルマンの言葉を借りれば「青春とは心の有り様を言うもの」です。常に心に理想と希望をもって人生に挑戦する限りそれは青春であると言っています。平均年齢70+α歳であろうと今年もクラブ全員が一丸となって心に青春を燃やしたぎらせながら、プロバスの理想の実現に向かって頑張りたいと思っております。

新年宴会 18:10～20:10

杉山会員委員長司会

1. 宮崎会長挨拶



新年会にふさわしく、元気のあるところを見せていただきたい。

2. 乾杯

濱野幸雄前会長の
発声で乾杯。



3. 会食・懇談



病気や怪我からの回復報告や今年の運勢など会員のショートスピーチがあった後、懇談の時間となった。カラオケでは多くの方が持ち歌を披露、最後は「千の風になって」を全員で合唱した。



4. 閉会

矢島副会長の発声による3本締めで閉会。

(例会・宴会記録 橋本鋼二 撮影 市川昌平)

新春特別講談要約

義士外伝の内より

「忠僕直助 誉れの刀鍛冶」

播州赤穂浅野藩では8月15日になると月見の宴を催す。その宴で家老大野九郎兵衛が刀自慢をはじめた。何を思ったのか勘定方岡島八十右衛門の刀を抜いて「こんななまくらを差して良くご奉公ができるな。禄盗人。」と嘲弄した。血相も変えながらも八十右衛門は堪忍する。

主人の酒を買いにいった下僕の直助が酒屋の亭主よりその出来事の顛末を聞き「生意気なようだが金があれば主人に立派な刀を買って差し上げられるのを。ここでこんな奉公をしていたのでは金などたまらない。いっそのこと大阪に出て名のある刀鍛冶に弟子入りし立派な刀鍛冶になって自分が打った刀を主人に差していただく」と無断で大阪に出奔。

いま大阪で一番の刀鍛冶は津田越前守助広だと聞き、誠心誠意弟子にしてほしいと頼み入り、漸くにして弟子入りすることが出来る。

朝は早くから夜は遅くまで精進し3年がたち、今では直助も立派な小刀ぐらいは打てるようになる。

ある時松平淡路守様のお腰の物の仕上げで一番弟子の三八のとり「向こう槌」を私に打たして下さいと主人に頼み込み、3年や5年の修行では「向こう槌」は打てるものではないと諭されるが、許されて見事立派に刀を仕上げる事が出来た。最初渡り職人かと訝った師匠の助広も赤穂での顛末を聞き、熱心さに納得した。1兩年を出ずして師匠にも引けを取らぬ腕となる。斯くして津田越前守助広は「一代限りで終わると思っていたが、いい弟子を授かった」と直助を養子とし、直助は名前も津田近江守助直となった。助広が向こう

槌にまわり大小二振りの金銀をちりばめた拵えも立派な刀を打ち上げた。その刀を播州赤穂の旧主岡島八十右衛門に贈った。岡島八十右衛門夫妻は涙を流して喜んだ。

元禄14年2月浅野匠守殿中にて刃傷。即日切腹。お家断絶。1年10ヶ月の忍耐の後、本懐成し遂げた47士の中で岡島八十右衛門が、名人助直の打った刀で恥ずかしからぬ働きをなした。(文責 八木啓充)

投稿

趣味と旅

高取 和郎



「趣味は5つ持ちなさい」と勤務していた病院の事務長が言っていた。何故5つなのかというと、退職してから、月曜から金曜までの5日間をどのように過ごすか大変な問題だ。5つの趣味でその5日間を過ごす事が出来ると言うのがその理由である。勿論、冗談で言ったのだが、満更冗談ではないかも知れない。マスコミで団塊の世代がこれから過ごす退職後の生活を取り上げているが、仕事から離れた方々の過ごし方をみると、私は趣味がありませんと家でテレビを見ている方、再就職している方、積極的に地域で活躍している人、様々である。

私は趣味を多く持っている方かも知れない。中学時代から始めたカメラをいじくり写真を撮っている、高校時代のスキーと大学からの洋蘭栽培、13年前からの陶芸等といくつかの趣味を持っているが、何時もこれらをこなしている訳ではない。何かに力を入れれば、他の趣味はお留守になる。数年前から、洋蘭の栽培に少し力を入れると、現金なものでこの数年良く花が咲くようになった。去年は人に誘われ各地に旅に行くこ



(樹正群海)

とが多かった。その中で8月に出かけた、中国、四川省にある九寨溝と黄龍を巡る旅は、自然の作る雄大な造形を見て自然の力の素晴らしさを感じたので、

少々、見てきたことを書いてみたい。
成田から広州へ、国内線で成都へ行き一泊、数年前までは成都から九寨溝までバスで12時間のバス旅であったが、近年、川主寺に九寨黄龍空港が出来、45

分で行けるようになった。九寨溝は1992年に世界遺産に登録され、大小100ほどの湖や瀑布が点在する景勝地で、多くの観光客が行く様になった。標高3000m以上にある全長50kmのY字型の溪谷に湖が数珠の様に連なり、湖から流れ出た水は樹木の根元を洗うように流れ下り、樹正群海の名を持つ景観を作っている。石灰層で濾過された透明な水が湖でコバル



(五彩池)

トブルーなど様々の色を見せてくれる。また、湖を流れ出た水が幅300mの瀑布にもなる。九寨溝とはチベット族の九つの村(寨)が川(溝)に沿ってあることから名付けられた。現地のガイドの話では、自給自足の小さな村が川に沿ってあったが、世界遺産への登録で現地では農耕が禁止され、住民には補助金が支給されているとのこと、住民の生活は観光事業に参加するか、土産物の販売に従事している様である。確かに住まいの近くには農耕地は見られない。住民は十分な保証があり、観光が少ない冬には海外への観光に出かける人がいるとのことであった。その話を聞いたとき、我々のような観光客が来て村は豊かになったが、本当に世界遺産に登録され土地の住民は幸福であったのだろうか疑問が残った。現在は、九寨溝へ入るには厳重なゲートを通り、専用のバスで観光するよう自然の景観を壊さない配慮はされている。多くの観光客を呼び観光で村が潤う事が必要なのであろう。



(諾日朗瀑布)

去年は中国の旅の他、中欧の旅、国内では明治村、秋には陶芸教室の萩へ旅など、どうも、旅行が趣味の一つに加わるようである。

編集後記

二月、暦の上ではもう春です。とは言え如月、衣更月とも書くように寒さが一段と激しさを増し、更に着物を重ねる月です。風邪の予防には手洗いと嗽だそうですが、言うは易く行なうは難しです。生涯学習サロンも始まりますので健康にはくれぐれもご留意のほどを。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第148回例会

日時：平成20年2月14日（木）12：30～14：30

場所：八王子エルシィ

出席者：57名 欠席9名 出席率86%

（会員総数68名 うち休会2名）

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶



皆さん今日は、1月も瞬く間に過ぎ2月になりました。立春とは名ばかり毎週のように雪が降り、寒さが一段と厳しくなったように感じられます。

皆様には風邪など引かれぬようご自愛のほどお願い申し上げます。本日は八王子南ロータリークラブより広瀬前会長がご出席下さいました。後程ご挨拶頂戴致したいと存じます。

さて、2月になりまして私達のメイン行事であります、生涯学習サロンが2月28日より開講されます。今年のテーマとして「ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を」を掲げまして地域奉仕委員会の皆様が阿部委員長を中心に年度が替わると同時に、色々と考え、努力して頂きまして準備を整えることが出来ました。有難う御座います。この生涯学習サロンの期間中に於いては地域奉仕委員会だけでなく、クラブ全員の皆様のご協力があって運営出来るものであります。どうぞよろしくお願い申し上げます。今年も立派に遂行できることを祈念致して居ります。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし。これは吉田松陰の言葉です。ひとつ今年の生涯学習サロンも夢を持って接して頂きたいと存じます。

3. ご来賓ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ前会長 広瀬武彦様

皆様今日は、間もなくプロバスさんでは生涯学習サ

ロンが始まりますが、打ち合わせを拝見してバイタリ



ティーがあり、またその緻密さには感心しております。これから、どうぞ宜しくお願い致します。

4. 幹事報告（山崎幹事）

(1) 会員動向 前月と変わらず会員数68名 休会2名

(2) 対外活動

① 当クラブ恒例の、そして最も重要な行事である、第12回生涯学習サロンが今月28日(木)の開講式からスタートいたします。地域奉仕委員会を中心に、諸準備をして来ましたが、各委員会の役割分担も再確認し、最後の点検に入っております。一般会員は70名参加予定。

② 2月12日、労政会館での八王子市民活動協議会の新年会、役員交流会に宮崎会長、矢島副会長が出席、交流を深めました。

③ 2月16日、八王子健康づくり活動協議会の「健康づくり活動発表会」があります。13時～16時30分まで、学園都市センターイベントホール。

(3) その他

① プロバスソング斉唱の許可願い

都城中央プロバスクラブ〔会員22名〕山下昭一郎会長より、宮崎会長あてに、当プロバスソングの斉唱許可願いが来ております。ホームページから試聴した様で、「平易な歌詞の中に全国共通のプロバスの理念が込められている。それにマッチした曲に惚れ惚れした」とのこと。

パスト会長を含め何人かのご意見を聞きましたが、皆さん積極的な賛成でした。過日の理事会で審議し、斉唱を同意する事に決定しました。但し、曲及び歌詞の改変の場合は私共の許可を得るとの条件を付します。

② 写真同好会の方々の作品が当会場に展示されて

おります。ユックリご覧下さい。

12月、1月と会場の関係で延期されたものです。

5. 各委員会報告

(1) 例会委員会 浅川委員長

本日の出席は57名、出席率が86%です。寒さも抜け切らないので風邪を引かないようにご注意下さい。

学習サロン当日お茶代として1000円 徴収致します。

(2) 情報委員会 八木委員長

皆さんの原稿をお待ちしております。どのような事でも結構です。メールをあけて居りますから身近な事など投稿をお願い致します。

(3) 会員委員会 杉山委員長

特になし

(4) 研修委員会 荒委員長

本日の卓話は、「環境問題」という題で浅川例会委員長が話されます。

(5) 地域奉仕委員会 阿部委員長

いよいよ当プロバスクラブの年間一大行事である第12回生涯学習サロンが皆様のご支援、ご協力を得て無事開講できる運びとなり本当に嬉しく思います。今後とも皆様のお力添え、ご協力をよろしくお願い致します。なお一般参加者の数は70名です。

さよならパーティーについては責任者である立川会員よりご説明をお願いします。

(6) さよならパーティーについて 立川会員

皆様今日は、先ほどは皆様に心ばかりのバレンタインのチョコレートを配らせて頂きました。さよならパーティーの企画は現在進行中です。今年は「みんなの和」をコンセプトに受講者・会員の全員が参加の出来るお祭りを考えています。また、ハニカミ王子合唱団の復活があり、改めて再編成いたしますので、お一人でも多くの方が手を挙げて男性コーラスに参加して下さいお待ちしております。武田さん、八木さんを中心に皆さんに良い曲、良い歌をご披露頂きたいと思います。

6. 同好会報告

(1) 写真同好会 下山会員

① 昨年の秋、奥多摩溪谷で撮った写真展を当会場で致しました。作品は各自お持ち帰り下さい。

② 4月24日デジカメ講座用の写真撮影会を写真同好会として行います。

日時 3月5日(水) 吉野梅郷

4月2日(水) 国立昭和記念公園

同好会の方は勿論、皆さんもどうぞご参加下さい。一般の方にも声をかけます。

④ 4月24日 デジカメ講座教室

サイエンスドーム八王子(こども科学館) パソコン室 コンピューター18台 参加者30名前後を予定していますので、午前と午後の2回に分けます。

午前 主として プロバス会員

午後 〃 サロン参加の方

(2) 茶道同好会 中野会員

5月のお茶会は5月13日(火)から5月20日(火)に変更。3月のお茶会は節句の会とします。新しく加入される方を歓迎いたします。

(3) 歴史を肴に語ろう会 澤渡会員

第10回は「学ぼう！八王子の江戸時代」

講師 野口正久 会員

日時 2月19日 10時

場所 エルシー 地下1階 「アンシャンテ」

12時より懇親会。皆様のご参加をお待ちしております。

学習サロンが始まりますので歴史の会は暫くお休みです。次回は6月位を予定しています。

7. 卓話 「環境問題」 浅川例会委員長

最近エコという言葉が良く使われています。エコの語源はギリシャ語で家ということだそうです。

エコロジイ 生きる場所(生態系)

エコノミー 効率的に物事を処理すること。

現在エコとは、環境に良いとか、やさしいという意味で使われています。

では環境に悪いとは。

人類が火を使うことによって環境汚染が始まったと思われます。



暖房、明かりや食物の

加工、道具の製作(土器など)。道具の素材として金属(銅、鉄、金、銀など)を取り出す事が鉱害の始まりです。

農耕社会が始まると、森林を破壊して農地を作り出します。人口の定着でゴミなどが発生し環境汚染が進みました。さらに、産業革命はエネルギー消費を急激に増加させます。

環境汚染の例

鉱害の多発 足尾銅山 など

産業廃棄物 水俣病 イタイイタイ病

土壌汚染(6化クロム、トリクロロエチレン、ダイオキシン)

化学物質によるもの

環境ホルモン問題 オゾンホール シックス症候群 花粉症やアトピーの抗体保有異変

毒物の混入 砒素入りミルク カネミ油症

薬害 C型肝炎 エイズ

大気汚染 光化学スモッグ 酸性雨 喘息

温暖化問題 温室効果ガス（炭酸ガス、メタンハロンガスなど）

大気汚染と温暖化問題は化石燃料の消費が大きく影響しております。

地球の温度は、地球に入ってくる太陽エネルギーと宇宙空間に出て行く熱エネルギーのバランスでまわります。太陽からのエネルギーは光（主として可視光線）という形で地球に入ってきます。地球から放出されるエネルギーは遠赤外光になります。炭酸ガスは可視光線などを透過しますが、遠赤外光は吸収します。炭酸ガスなどの量によって逃げるエネルギーが変わるので、地球の温度が変わるのです。

炭酸ガスのほとんどは化石燃料の消費で発生しています。炭酸ガスを減らすには、化石燃料の消費を削減しなければなりません。しかし現在使っているエネルギーの90%は化石燃料に依存しています。

地上で得られるエネルギーは、太陽熱以外には、原子力（核分裂、核融合）、地熱（火山、温泉など）、重力（潮の干満など）しかありません。

原子力「核分裂」は安全や汚染物質の後始末の問題がありますが、もう一度見直そうという機運になってきています。「核融合」はまだ使える目途が立っていません。

太陽熱の有効利用がどこまで出来るか。

化石燃料は地球が何億年という年月をかけて、太陽エネルギーを蓄えた遺産です。それは貴重な有機材料なのです。その財産をエネルギーのために燃やしてしまい、その挙句有害な大気汚染物質を撒き散らしているのです。

化石燃料はあと50年ぐらいでなくなるだろうと言われています。今温暖化問題によって、化石燃料依存から何とか抜け出そうとはじめたことで、人類は絶滅を免れたのかもしれない。

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 山崎幹事

浅川会員の環境問題の卓話はすばらしい感覚でした。有難うございました。その中で取り上げられた例の餃子問題からして日本の他国からの農産物輸入は落花生74%、にんにく69%、まつたけ64%、更に驚いた

のは海産物の蛤92%、ワカメ77%、フグ65%、等となっておりこの輸入量では和食が和食で無くなってしまいます。

これをとめる対策は皆様がよく考えてみて下さい。という事で終わらせて頂きます。

今日は有難う御座いました。次回例会は3月13日11時30分からです。

（例会記録 阿部幸子 撮影 市川昌平）



掲示板

八王子市レクリエーション協会創立 35 周年にあたり、当会の会員 大野聖二氏、塩澤迪夫氏、宮城安子氏の三方が特別功労賞を贈られました。おめでとうございます。

随想

ラジオ深夜便

阿部幸子

真夜中、いわゆる深夜です。イヤホーンを通して、イージーリスニングを聴いていますと家人も目覚めている様子、同じ番組を楽しんでいるのでしょうか。リスナーとしては、大先輩です。俗にラジオのファンは人（しゃべり手）につくと言われていています。アナウンサーの個性や人柄、考えをしゃべり手の言葉から敏感に感じ取ります。私は先ず『美しい日本語』を使う男性アナウンサーM. K. A さんが好きです。担当の夜は、しっかり起きています。

投稿

高尾の山野草

八木啓充

3月の声を聞くとそわそわしてきます。野や山に可憐な花が咲き出す季節、一番多彩な季節になるからです。

高尾山麓では山野草の群落を多く見ることが出来ます。また、群落にはならなくても木陰や陽だまりに可憐な花を見つけることが出来ます。

3月中旬から5月中旬が山野草の旬と言えます。



アズマイチゲ

まず、春に先駆けて咲き始めるのはキンポウゲ科の「アズマイチゲ」です。雪が融けてしばらくすると茂みの湿った足元に、淡緑色の葉を広げ白い可憐な花を

咲かせます。

同じキンポウゲ科の「ニリンソウ」と一緒に咲いているところもあります。

写真を撮影したのは昨年3月24日です。

高尾駅北口のバス停②から「小仏」行のバス（毎時 12



ニリンソウ

る付近で「アズマイチゲ」を見つける事が出来ます。感激です。川筋に沿ってしばらく歩くと一箇所ユキノシタ科の「ハナネコノメ」が固まって咲いているのを目にします。写真を撮っている山野草オタクが数人いるのでわかります。5mm ほどの白い花の中にボツンと真



ハナネコノメ

っ赤な雌しべが丁度ネコの目のように可愛らしく、一遍に山野草マニアになってしまうこと必定了。近くの陽だまりには「ヤマルリソウ」を見つけることも出来ます。



ヤマルリソウ

出来ます。

さあ、遊歩道の入り口に戻り、元の道を少し進みましょう。右手の川の対岸に一面「ニリンソウ」が咲きその間に「アズマイチゲ」がそこそこに咲いているのを見ることが出来ます。川に落ちないように気をつけて対岸に渡ってみることをお勧めいたします。

また、高尾はスマレの種類が豊富です。訪れる時期によって、また訪れる場所によって違ったスマレを見ることが出来ます。



アオイスマレ

寒さに少しいじけています。アオイスマレに劣らず早くから咲き、どこにでも一番良く見られるのはタチツボスマレです。

4 月になると人家の周り



イザンスミレ

に良く見られるノジスマレ、日影になった北斜面などに咲くナガバノスマレサイシン。名前のごとく葉が長く、花もやや黄色味を帯びた白い大き目の花が咲きます。日当たりの良いところで白い花を咲かせるケマルバスミレ、



ケマルバスミレ

特に良い香りがします。5 月中下旬にコミヤマスマレが咲くとスマレの花もお仕舞いです。そうそう高尾独特のスマレ、タカオスマレを忘れてはいけませんね。



タカオスマレ

国道 20 号の南に南高尾山稜という、大垂水峠から南に入るハイキングコースがあります。そこにはイカリソウの群生やタカオスマレの集落などを見ることが出来ます。運がよければ、かわいいデージーのような花を咲かせるセンボンヤリ、いかにも春を思わせるフデリンドウやハルリンドウなども見つけることが出来ます。この山稜の北東端は高尾の初沢まで伸びています。その尾



シュンラン

湿ったところが好きで、小さな白い花を咲かせるツボスマレ（ニョイスミレとも呼ばれる）。尾根の日当たりの良いところに咲くニオイタチツボスマレは午前中に



ニオイタチツボスマレ

タカオスマレはヒカゲスマレの変種で、花は白く、葉も大柄で、濃い褐色になります。葉の色を見ればそれと分かります。



イカリソウ

根筋にはシュンランがところどころに咲いて、早い春の到来を告げます。

暖かい春の日差しの中か図鑑を持って歩いてみてもいいでしょうか。

編集後記

いよいよ生涯学習サロンが始まりました。今年は「浅川」からスタートしました。年年歳歳花相似と言いますが、急激な環境の変化を真剣に考えるときです。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第149回 例会

日時：平成20年3月13日（木）11:30～13:30

場所：八王子エルシィ

出席者：56名 欠席10名 出席率85%

（会員総数68名、うち休会2名）

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶

皆さん今日は。梅一輪一輪ほどの暖かさ、といひます。今年は遅れているようでしたが、やっと咲き始めました。皆様お元気でご出席頂きまして有難うございます。又、お忙しいところ、八王子南ロータリークラブより廣瀬前会長にご出席頂きまして誠に有難うございます。後ほどご挨拶を頂戴いたしたいと存じます。

先日開講式が終わり、本日より本格的に生涯学習サロンが始まり忙しくなりますが皆様のご協力をお願いいたします。

皆様にご報告と致しまして、今月28日に国際ロータリーの第2750地区大会が開催されます。先日、南ロータリークラブよりご招待状と協力の要請を頂戴いたしました。地区大会の事務局が本年は八王子南ロータリークラブでありますので、当日はお手伝いを兼ね出来るだけ多くの皆様に参加していただきたいと考え、理事の皆さんプラス数名の方をお願いいたしましたので宜しくをお願いいたします。当日は朝の9時より始まりまして一日中、いろいろな行事があります。後半において都立片倉高校の吹奏楽部の演奏や特別記念講演として石原慎太郎知事のお話などあります。後日、その地区大会の様子は報告させていただきます。

さて、私事ではありますが最近パズルにはまり込んでおります。皆様の中にもご存知の方がおられると思いますが、数独という簡単な数字合わせです。頭の体操としてひょっとしたことやら始めたのですが、なかなか面白くて今では毎日の夕刊に問題と解答が載っているのですが楽しみに致しております。皆様もお暇のときにやってみたら如何でしょうか。ボケの防止になるかも知れません。以上です。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶

東京八王子南ロータリークラブ前会長 廣瀬武彦様

地区大会が迫り、全力で準備をしています。プロバスの皆様にもご協力よろしくをお願いいたします。先日私の母校、八王子工業高校の卒業式にPTA会長として出席しました。毎年のように国旗、国歌に反対する2、3名の教員と、それをチェックする教育委員会という構図を見掛けました。

国旗と国歌は戦争のためにも国家の良いことのためにも使われます。国旗、国家はそのような歴史を全部見てきている訳です。ですからどのようなことをすべきか、どのようなことをすべきではないのかと反省するためにも、国旗を掲げ国歌を唱って大事にしなければいけないと思います。卒業式に出席するといつもこんなことを思っています。

4. 幹事報告 山崎幹事

学習サロン開講式が無事終わり、本日よりサロンが始まります。

小倉先生の浅川の水のお話、タイムリーで好評であったと聞き及んでいます。

- 1) 対外活動 古川会員が2冊目となる「茶まんだら」を文芸社から出版されました。お茶の世界が広がる内容だそうです。ご一読下さい。
- 2) 3月28日に国際ロータリー第2750地区大会がグランドプリンスホテル新高輪にて開催され、当会より12名が参加予定です。
- 3) 八王子レクリエーション協会の35周年記念総会にて大野（聖）会員、塩澤会員、宮城会員が特別功労賞を授与されました。おめでとうございます。

5. 各委員会報告

1) 例会委員会 浅川委員長

4月次回例会に野外サロン参加費を徴収します。本日の出席者は56名 出席率85%です。

2) 情報委員会 八木委員長

会報の記事が不足しまして、急遽私自身が記事を作成しました。高尾の山野草です。ホームページ

にカラーで掲載されますので、お目通し下さい。
長谷川会員に「南米バイク旅行ハイライト」をお願いいたしました。ご期待下さい。

3) 会員委員会 杉山委員長

現在会員数は、男性59名、女性9名の68名です。宮崎会長より年度末までに3名増員してほしいとの要請がありました。今月中に1名の候補があり、後2名です。皆様の推薦をお願いします。

4) 研修委員会 荒委員長

本日の卓話は、松尾委員の「ボスは本当にいるのか？」という猿のお話です。

5) 地域奉仕委員会 阿部(和)委員長

第12回学習サロン、一般会員73名を迎えて開講いたしました。本日よりサロンが始まります。皆様のご協力宜しくお願いいたします。

野外サロンの案内と申込書を配布しました。お申し込み下さい。参加費は4月10日に徴収させていただきます。

6. 同好会報告

1) 楽々IT塾 矢崎会員

今月3月17日(月)午後に武田会員による「バックアップ講座」があります。大事な情報、あるいは買換えによる情報のバックアップです。5月は休講となります。

2) ゴルフ同好会 小林会員

南ロータリークラブと合同コンペを予定しておりましたが、日程の都合で中止となりました。プロバスクラブのみで5月23日(金)、GMGにて4組予定しております。次回ご案内いたします。

3) お茶の会 中野会員

来月4月8日(火)は「桜の茶会」を催します。5月は第3火曜日の20日です。加入される会員をお待ちしています。

4) 囲碁同好会 下山会員

春の囲碁大会、5月16日(金)9時より台町市民センターにて開催します。会員でない方もご参加下さい。

7. その他 立川会員

世界のプロビアンがランデブーするプロバスランデブーについてご紹介します。

今年は9月14日～19日までニュージーランドのクライストチャーチにて開かれます。昨年はオーストラリアで開かれ、交通費込みで25万円くらい、800人ほどの参加であったそうです。5月8日の大阪での

役員会にて申し込みをします。

八王子フィルハーモニーが8月25日から9月1日までザクセン・シンフォニックオーケストラ・ケムニッツを招聘して演奏会を開催します。28日午後にはエルシィにて茶会を予定しています。そのとき当会のお茶の会の方々に協力していただき、日本の「お茶」はどういうものか理解していただけたらと思います。詳細は後日ご案内いたします。

8. 卓話 「ボスは居るの？」 松尾会員

動物園の猿山を見ながら1番多い質問は「ボスは何ですか？ 此処にもボスは居るのですか？」



お父さんがお子さんを連れて来て、何時でも一番高いところに居てみんなを守って居るんだぞ、と高いところを指さすと似ても似つかない猿が座って居て挙げ

た手のやり場に困っている光景をよく見ます。

ボス説は何時から？

日本猿の生態調査が始められたのは今西錦司が1948年比較社会学の立場から、人間社会と猿社会との対比を研究することから始まった。場所は猿の芋洗いとして有名な九州志布志湾にある幸島です。しかし、一年を通じて葉の茂る山では猿の行動調査は不可能に近く、餌付けを始め1953年になり餌付けを成功させた。つまり猿を人の見やすい海岸の砂浜まで引き出した訳です。餌付けと言うのは野生動物を人の管理下に置いたという訳です。そこで観察された結果日本猿の群れはボスを頂点にそれぞれの個体が役目を果たすことにより成り立っている同心二重構造円と言う説が発表された。これは、主だった雄(ボス集団)を中心に赤ん坊を含む雌集団が取り巻き、その回りをボス見習いが、更にその外には若者雄の集団が取り巻いていると言う構造です。ボスというのは、何時も高いところに居て餌が有れば一人占め、群れの雌も独り占め、移動するときは常に群れの先頭に立って群れを引き連れ、喧嘩があれば仲裁をし、外敵に対しては率先して群れを守るために戦う等と言う話が社会に定着しました。

ボス説のその後

その後若い研究者たちが追跡調査を進めた結果1960年頃から今西の説は、餌付けをされた人に管理された状態の調査であって、自由に生活をする野生猿の状態ではないとの異論が出始めた。それ以後研究者たちは自らが山に入り野生猿の群れを追ひ、その結果、

白山の豪雪地帯や金華山で群れを追った伊沢紘生は「野生猿の世界にはボスは存在しない」と言い切った。例えば

①餌の独り占め＝ 自然界で隣が何メートルも離れ食事をする状態では、食べ物を独占する現象は起き得ないだろう。

②雌の独り占め＝ 日本猿の社会は基本的に母系社会であり、群れの雄は血縁関係にない。理由は生まれた群れで終生過ごすのは雌だけ。雄は4～5歳で、群れから出て他の群れに入る様になっている。研究者の中には群れの雄は「雇われガードマン」等と揶揄する記事も見たことが有る。自然の摂理で言えば、これで近親交配を避けている。

③移動に際して群れを引き連れる＝ 日本猿は基本的に「付いて行く」と言う性格をもつ。これは群れ生活の基本として仲間の動向を観察するところから発生すると思われる。したがってそのときの先頭は誰でも差し支えない。これが時に楽をして餌に有り付ける状態を作り出す。

などなど反論は枚挙に暇がなく、従来のボスの陰は薄れて行った。

動物園の猿山

野生の生活と猿山の生活で最も大きな違いは隣りが近すぎることに尽きると思う。

お互いが見合って暮らすか、表面的でも仲良く暮らすかこれは人間社会も同様です。彼らは自分のおかれた状況、環境を理解し、自分がいやな思いをしないために気を使い合い、模索をしながら生活をしています。

良く質問をされます。猿は歩いているときどうして回りを気にしながら歩くのですか？ 研究者の説では自分より強い個体の存在、弱い個体の存在を頭にインプットしている、つまり何かが起こったとき自分はどうに対処したら良いのかを考えていると言うのです。猿は理由の如何を問わず、群れを作りばらせる事なく生活をしている、その基本的理由はお互いが頼り頼られる関係に有り、近くに自分より強いものが居ればそれに頼ろうとする。

猿山で良く目にする光景を1, 2紹介したいと思います。

先日読んだ対談の中で、養老猛さんが常識とは相手の心を読み取ることだと話していました。相手の気持ちを押し量り対処することは社会生活の基本で、猿にその常識が有るとは思えませんが相手の顔色どころか腹の中まで見透かしているような光景を目にします。

自分が此処に居て、向こうから自分より優位の猿が近づいて来たとき、ちらっと見て機嫌良さそうだなと思えばそしらぬ顔をして座っています。危ないなと感じたときはさっさとその場所から移ります。余分な争いを起こしても自分の利益にはなりません。

たまに失敗して、互いに緊張が高まり身動きがとれなくなります。そのとき自分より弱い猿が近くに居ればそれに喧嘩を吹っかけ追いかけるふりをしてその場から逃がれます。そのような光景を見る来園者は、今の喧嘩の原因は何ですかと質問をします。考えるに、その時の虫の居所ひとつではないかと思います。

強いものを頼る行動が見えて来ます。相手より強いものがそばに居ればそれを頼りにします。その後がいけない。虎の衣を借る何とかで逆襲を始めるのです。その時は後ろ盾が居ることを確認しながらやっています。その結果往々にして猿山中が大騒ぎ、猿は尻馬乗りですから。しばらくすると静かになり、よく見ると先刻いがみ合っていた当人同士が毛づくろいをしている事を良く見かけます。又こんな質問も良く受けます。あそこに一人で居る猿は苛められたんですか、仲間外れにされているのですか。心配いただくのは有り難いのですがあまりにも人間的な心配で、彼らは一人でも十分に楽しみながら生活出来る動物で、たまたま一人で居たいから一人で居るだけ。結構自分の時間を楽しんでいるのかも知れません。

しばらくすると仲間のところに行き遊んだり、毛づくろいをしたりしています。又仲間もそれを受け入れる社会です。

何れにしても日本猿は1日を食べて、遊んで、昼寝して、あわよくば楽をしておいしいものにあり付き、仲間と平和に暮らせれば今日一日は満足。明日は明日の風が吹く、の生活をしている動物で、時に人間関係でぎりぎり生活の我々は見習うことの多い動物です。何となく心休まるような世界です。

9. プロバスソング斉唱

10. 閉会挨拶 矢島副会長

春めいてまいりました。天気予報で開花予想を26日と発表していました。1週間で満開となるでしょう。

サロンのデジカメ講座のテキスト作成に5日、吉野梅郷へ参りましたが、咲いている梅は少なく、枯れ木の賑わいでした。4月2日国立昭和記念公園での桜の撮影会、満開の下で楽しみです。

サロンが始まります。会員の皆様のご協力、宜しく願いいたします。

長谷川貴訓

シルクロードを走破した年の忘年会は、新橋の居酒屋で開かれた。海外ツーリングの仲間達が揃っていた。大怪我し、途中で離団した友達も元気な顔で参加している。南米の大きな地図が壁に貼られると、アンデス・パタゴニアに話題が移る。4,000m級の峠越え、高山病、ウユニ塩湖横断、犬が空を飛ぶと云われる強烈な偏西風、雨が降れば冠水し最悪になる道路など、怖ろしい話が飛び交う。果たして、自分の技量だけで走りぬけられるであろうか。毎度のように、もう一つ、自分を駆り立てる旅の目標というパワーが欲しかった。其れが無いと途中で挫折してしまいそうだからである。幸いなことに、山梨で開催された『世界遺産ナスカ展』が、今回の目標を決めてくれた。

西から東へ移動したモンゴロイド系新人類が、アメリカ大陸に渡り、南米最南端に辿り着くまでが解り易く説明してあった。『そうだ、今回は人類の旅の果てで、遠く血が繋がっている先住民達との出会いを目標に走ってみることにしよう。』漸く、心のエンジンが掛かった。

●2007年12月5日 リマ：早朝

冒険家加曽利隊長を先頭に14台、12,000キロのバイクの旅はスタートした。目指すは南米の最南端ウスアイアである。楽な旅だけでは無かった。過酷なアンデス越えや、悪路の夜間走行、パタゴニアの烈風の中で、ややもすると負けそうになる気持ちを支えてくれたのは、先住民との出会いと云う、旅の目標があったかもしれない。

●2008年1月11日 ウスアイア：白夜

遂に最南端の町に着いた。よく無事に到着したものである。既に3人が転倒怪我で離団し日本に戻った。目指した旅はここで終わった。世界の果て、寂寥の街を想像していたが、南極ツアーの拠点でもあり、世界中から観光客が集まっていた。さて、目標にしていた、先住民との出会いは。結論をいえば、逢えなかった。いえ、存在していなかった。

ペルー・ボリビアには、モンゴロイド系先住民族はかなりいた。我々に近い顔立ちもみかけた。ところが、チリ・アルゼンチンには先住民に近い人は全くみかけなかった。そのはずである、15世紀この地に入植したスペイン人は先住民族のせん滅を政策としていたため、モンゴロイド系の人種は絶滅したと云う。西洋人による、根絶やし作戦である。皆殺し作戦である。同じ血を分けあった者として余りにも悲惨で胸が痛い。アフリカを起点として15万年前旅立った新人類は、1万年前アメリカ大陸の最南端まで辿り着いた。人類の旅はそこで終わった。1,000キロ先は南極である。旅の終わりの土地で先住民は毛皮で身をまとい、数十年前まで住んでいたが、^い現在はいない。

先住民の写真があると云う博物館へ行く。『世界の果て博物館』小さな博物館である。先住民の貴重な写真が残されていた。直近の更に小さなムンド・ヤマナ博物館も訪ねた。ヤムナ族に関して展示してあった。狭い三つの展示室を回ると出口。そこで、私は、一枚の写真の前で棒立ちになる。

『真逆！』『よもや、旅の終わりに、見たものが己の過去とは！』ブエノスアイレスまでの帰路は、パンパと呼ばれる草原地帯が数千キロと延々と続く道。走りながら、世界の果てで出会ったあの先住民の写真が気になってしょうがなかった。それは、いつまでも続いた。(終)



ボリビア 標高 3760m ウユニ塩湖上にて筆者*

人類移動年代は11月のサイエンスZEROも参考にしました。

編集後記：卯月、卯の花、夏は来ぬ。春は急ぎ過ぎ行く。春・青春は心の若さですね。青春野郎の旅行記の続きを聞きたいですね。紙面が無くて残念。

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2007.7～2008.6 テーマ『ふるさとへの恩返し、豊かな知識と経験を』

第150回 例会

日時：平成20年4月10日（木）11:30～13:30

場所：八王子エルシイ

出席者：59名 欠席7名 出席率89%

（会員総数68名、うち休会2名）

1. 浅川例会委員長の司会で定時に開会

2. 宮崎会長挨拶

皆さん今日は。桜の花咲き散り、毎日が暖かさ感じます。先日、28日に国際ロータリークラブの第2750地区の地区大会に出席致しました。品格の高い、スケールの大きい素晴らしい大会でありました。私達プロバスクラブにも色々と学ぶものがありました。八王子南ロータリークラブの皆さん方はホストクラブとして大変であった事と存じます。先ずは無事遂行することが出来まして、誠に喜ばしいことで御座います。

本日はお忙しい所、第2750地区の坂本ガバナー、梶原大会委員長、南ロータリークラブより清水会長、市川幹事にご出席頂いて居りますのでこの後、ご挨拶を頂戴致したいと存じます。

さて、私達の生涯学習サロンも丁度半分を終えまして今日より後半期に入ることになりました。今年のサロンは参加者が順調に予定通りに来ております。一般会員の評価もなかなか宜しいようです。後半も持続致しまして無事に遂行出来ますことを期待致して居ります。

話は変わりますが、先日NPO法人、滝山城跡群・自然と歴史を守る会の滝山城跡を歩く会に参加致して参りました。滝山城跡は八王子に住む人は何回か行ったことがあると思いますが、今回説明をされながら歩いて見ますと今まで知らなかった所を案内され、滝山城の大きさや曲輪の実用性等に感心させられました。普段は竹やぶや雑草地帯で分かりませんが千畳敷の直下に大きな池の跡があり、その中心に弁天島と言われる島があったことが分かったようです。そのよう

な同じ池が八王子城跡や鉢形城跡にもあるとのこと。後北条氏の特性であったかも知れません。八王子にも歴史上の知らないことがまだまだあるのだなと思った次第です。皆さん方もお暇の時に歩かれたら如何でしょうか。

3. 来賓ご紹介・ご挨拶



国際ロータリークラブ第2750地区ガバナー 坂本俊雄様、地区大会委員長 梶原正統様、東京八王子南ロータリークラブ会長 清水宣彦様、幹事 市川和博様の方々より地区大会への協力のお礼の言葉を頂きました。

4. 新入会員紹介



紹介者 杉山会員委員長：石井 広治（ひろじ）氏
山形県出身 昭和15年1月生68才。昭和41年より八王子市に在住、神奈川県

学校の先生を経て現なみのり幼稚園長。陸連の公認審判員。所属は会員委員会です。

5. 幹事報告 山崎幹事

1) 会員動向 本日、石井広治（ひろじ）氏が入会。会員69名（女子9名）。野口会員が入院され12月まで休会。実動66名 休会3名 石田会員は3月までの休会が当分延長の見込みです。

2) 対外活動

① 先ほど、国際ロータリー第2750地区の坂本ガバナーからお礼のご挨拶が有りました様に3月28日、国際ロータリー第2750地区の地区大会がグランドプリンスホテル新高輪国際館パミールで開催されました。当クラブより会長以下10名が参加致しました。2800人が一堂に集まり、6カ国の国歌斉唱に始まり、午前中は会長代理挨拶、各地区及び各委員会の報告。午後

は片倉高校の吹奏楽部演奏。特別講演として石原都知事が講演。演題の「10年後の東京」ではなくて日本人の素晴らしさを強調した石原節でした。参加された皆様には早朝から夜まで大変ご苦労様でした。前夜祭、日韓親善夕食会等を含め2800人の来客をもてなすホストクラブである八王子南ロータリー皆様のご苦労は大変でした事と推察致し本当にお疲れ様でした。

② 5月16日神奈川県プロバスケットボール連合協議会（横浜、鎌倉、川崎西、神奈川横須賀プロバスの四クラブ）第2回親睦交流会が横須賀であり立川（全日本副会長）会員、宮崎会長、幹事私が出席の予定です。
③ 5月18日は市民健康の日「健康フェスティバル」に例年の如く受付、案内に三人ずつ3ヶ所、各委員会委員長以外で各一人ご協力をお願い致します。当日の責任者は土井副幹事です。

④ 5月31日全日本プロバスケットボール役員会が大阪であり立川会員が出席予定です。

生涯学習サロンは第三週に入ります。話し手の皆様、司会、会場係はもちろん、会員の方々のご協力をお願いします。

6. 各委員会報告

1) 例会委員会 浅川委員長

本日の出席率は89%の出席でした。4月24日にさよならパーティの会費を頂きます。

2) 情報委員会 八木委員長

プロバスケットボールより中に長谷川会員よりの投稿が載せてありますのでお読みください。

3) 会員委員会 杉山委員長

会員名簿追加資料がありますのでご利用下さい。

4) 研修委員会 荒委員長

本日の卓話は、私が担当します。

5) 地域奉仕委員会 阿部（和）委員長

1. サロンの中日迎えて有難うございました。
2. 野外サロンの出席は会員49名 一般50名 合計99名の予定。
3. 閉講式さよならパーティに出席して下さい。

6. 同好会報告

1) 楽々IT塾 矢崎会員

5月は休講として6月より開始します。今月は第3月曜日に行います。

2) ゴルフ同好会 小林会員

コンペを5月29日（木）に変更いたします。GMG八王子西コース9：03分スタート。4組で行います。案内は過去に参加した人に出しているの、届いている方は5月10日までに申し込んで下さい。

3) お茶の会 中野会員

5月20日は、節句のお茶会とします。4月より高取さんが入会します。

7. 卓話 歴史よもやま話 「四神はペット？」

荒 正勝 会員

1. キトラ古墳の壁画

・古墳は死者が来世に蘇る神聖な場所です。四面の壁には、南に朱雀、北に玄武、東に青竜、西に白虎、天井には天文図が描かれ、荘厳な雰囲気になっています。

2. 壁画の製作

・私は今日の卓話の為に、見えにくい四神の写真をパソコンの中で、色を付け、線を加えて少し加工してみました。しかし青竜の写真は古墳内部に流入した土のため、首の辺りしか見えません。それで高松塚の写真に差し替えましたが、その訳はキトラの青竜と並べてみると図柄がほとんど同じなのです。さらに玄武の写真も重ねて見ますと、大蛇の部分が一致します。白虎は頭の向きが右左逆になっていますが、パソコン内で左右を反転しますとほぼ一致します。

結論は、高松とキトラの四神図は同じお手本を使っていたと推理されています。そこから同じ画師かそのグループが描いたものと云うことになります。では画師は誰かと云うことになりますが、確かなことは判っていません。有力な候補としてきふみのみやっこほんじつ「黄文造本実」（高句麗系）の名前が挙がっています。

・画師が全く見たこともない絵を描くときは、何か参考になるものや図が必要です。それで中国や朝鮮半島の四神の図象が調査されていますが、今のところ全く同じ図像は見つかっていません。

しかも、キトラの朱雀は、まさに飛び立つ瞬間の図象で、絵画としては大傑作です。その上、朱色の色彩がよく残っております。その理由は岩絵具を使っているからです。自然の岩石を砕いて粉末にし、膠を接着剤として混ぜて描くのです。いま日本画の先生方はこの伝統を受け継いでいます。理由は簡単で

す、この岩絵具は 1300 年経っても変色しないからです。キトラや高松塚の壁画がそれを証明しています。

3. 天文図を読み解く

・キトラの天文図は高句麗から飛鳥に伝わったものであると専門の先生方は論文に書いておられます。またその元の図は、古代中国の洛陽で星空を観測して星座を描いたと推測しています。緯度が逆算できるほど高度な観測をしていたことに驚かされます。その図を画師は天井に描いたのです。

その結果、日本の古代史に新たな資料を提供してくれました。

・天文図の中央（北極）には天皇大帝（天帝）という名の星があります。これは道教で云う宇宙の最高神です。両古墳の天文図ではこの星は剥落しているそうですが、描かれたことは間違いないようです。実はこの星は天皇という尊称を確定するきっかけになったということです。それ以前は大王でしたが、この天皇大帝から天皇に変身したのです。日の皇子（太陽の子、天照の子孫）であることが、天皇の尊称ですぐに理解できるのです。この尊称をはじめて採用したのが天武天皇であろうと云われています。天武 4 年（675）飛鳥に占星台建設の記事が日本書紀に載っています。これは天文台を作ったということで、陰陽寮という役所の設置を意味します。役割は天文観測をして暦を作ること。水時計を管理して、時間を知らせることなどです。

4. 藤原京の建設

・その成果はすぐに発揮されました。天武 13 年（684）日本で初めての本格的な都の建設を計画。天皇は宮殿の予定地を視察します。天皇は宮殿から真っ直ぐ南に走る朱雀大路を想像し満足であったと思います。

元号を朱雀にちなんで朱^{あか}鳥^{みどり}元年（686）とした年に天武天皇は崩御しましたが、皇后の持統天皇が藤原京を完成し、持統 8 年（694）藤原京に遷都しました。

・藤原京の発掘調査の結果、朱雀大路は路面 18m、側溝 7m の立派な道路で、しかも方位は南北の子午線を精密に測量していたことが判りました。その南への延長線上に天武持統陵があり、位置は若干はズれていますが、高松塚とキトラ古墳があります。高

松塚の青竜には首輪がはめられています。天皇は天上から四神をペットのように使い、藤原京を守護させていたのかも知れません。

8. プロバスソング斉唱

9. 閉会挨拶 矢島副会長

投稿

ードイツ・ケムニッツ・オーケストラとの
交流演奏会ー（プロバスだより第 25 号 音楽のパートナーを求めてのその後）

立川 富美代会員

1999 年 8 月 30 日午前 11 時成田空港で、私はドイツから来る音楽の友をワクワクしながら待ちました。スーツケースより大きい楽器ケースを持って 45 人のドイツ・ザクセン・シンフォニック・オーケストラ・ケムニッツ（長い名前ですからケムニッツ・オケとします）のメンバーをお迎えしたのでした。何故ケムニッツ・オケとの交流が始まったのかということは、今から 11 年前のプロバスだよりに書いたのですが、その頃プロバスは発足したばかり、現在当時のメンバーは 10 名くらいになっていて、殆どの会員は読んでおられないので 25 号に書いた、ケムニッツ・オケのことを少し紹介いたします。

ケムニッツは旧東ドイツ、ドレスデンのすぐそばの静かで美しい町です。音楽交流の相手を募集するときの条件が 4 つありました。①繊維工業都市である、②学園都市である、③人口が同じ位の市、④フルオーケストラであること。それに見合った応募が 5 つあり、その中からケムニッツ・オケを選びました。何より市を挙げて交流を希望されたからです。

ケムニッツ・オケのデイジー団長は当時 40 歳の女性で、工学博士でヴィオラを弾いておりました。初対面で気の強そうな人でしたが、来日中にもうとても太刀打ち出来ない位に強さを出してきました。特に音楽的な解釈では絶対に引かないものを持っていて、日本のアマオケをバカにしたような所が見え、練習、本番とよく喧嘩をしました。「貴方は招かれて来たのよ」と言いたいのですが、通訳の女の子が、一寸肩を抱かれて甘い言葉を言われると、通訳のスタンスがドイツ寄りになり、本当に言葉ができないのが情けないと思いました。しかし、こと音楽から離れるともう陽気な仲間。毎晩夕食の後で各自練習をするのですが、それが終わると宿舎の八王子セミナーハウスの山の上の

「交友館」に集まり、大宴会が始まります。

さて、目的の演奏会ですが、音楽的な解釈はお互いにゆずらない、両方の指揮者がカンカンガクガク夜明けまでもめていました。メインの曲が「ブラームス交響曲第2番」というむつかしい曲ですから無理ありません。選曲を間違ったのでしょうか。

合唱曲は、日本民謡を編曲したメドレーで「北から南まで」と「さくら・さくら」から始まります。NHKの海外向け国際放送から取材が来て30分海外に向けて放送してくれました。ブラームスを取り上げるのではなく、さくらの前奏曲が最初に出てきた時はとても感激したことを昨日のことのよう思い出します。

初めて日本に来て下さった人々に日本の文化、八王子の文化、どのように見て頂くかと本当に頭を痛めました。八王子では、高尾山、車人形稽古場、廣園寺の座禅、そして富士山、海のない国から来られたのでアクアラインから海まで行きました。2003年2回目の来日には、ディズニー・シー、多摩御陵、浅草浅草寺、などあらゆる名所をめぐりましたが、高尾山の「護摩焚き」はことのほか感動したようでした。大山管主は、とてもユーモラスな方で、ドイツ語の挨拶を巻紙に書き、カナを振って読み上げてみなさんに見せて大爆笑でした。期待の富士山は雨で五合目も霞でがっかり。でも忍野八海は、もう楽しくて時間がきても中々集まらずに困りました。

ケムニッツはとても寒いところですので、夏は避寒に出かけるくらいですから、八王子の蒸し暑い夏も嬉しくて全然苦にならなかったようです。演奏には本当に厳しく接しておりますが、楽しむところは100%楽しんでおりました。

市長表敬は毎回来られるたびに行きます。ケムニッツ市長の親書とお土産を持って、市役所に行きます。八王子市長もまた親書を用意して、市民でも入ったことのないような会議室にご案内頂けます。ケムニッツにお招きを受けた時も、まるで大きな美術館のような市庁舎に案内されて、昼間からシャンパンで歓迎パーティをさせていただきます。

八王子市役所の入口のポールにドイツ国旗を掲げて頂くようにしたら、大変喜び、皆がビデオに取り、お土産にしたようでした。

1回目の招聘から八王子フィルの後援会の村内道

昌会長（村内ファニチャー会長）の大変大きなご支援とご理解があり、安心してプランを立てることが出来ました。文化を育てるには大変なお金もかかり、理解をして下さる支援者がなければ出来ないことを痛感し、3回の招聘、2回のケムニッツ招待と5回もドイツと交流が出来ましたことを感謝いたしております。

いよいよケムニッツ・オケとの交流演奏会も最終章に入るのですが、5回目の交流演奏会（3回は八王子、2回はケムニッツ）は今年8月25日に来日、8月31日（日）に八王子市民会館で交流演奏会を開催いたします。準備も本格的に始まりましたが、今回の演奏曲は極力やさしく、市民の皆様の良くご存じの曲ばかりを取り上げました。メイン曲は「新世界」。また、ソリストや合唱団によります曲は、椿姫、ツウランドット、ナブッコ、ローエングリーンの結婚行進曲などなど、きっとお楽しみ頂けると思っております。

観光も今回は日本のお城を見て頂きたいので、松本城の見学、都内の江戸博物館、相撲博物館、皇居など、また多摩動物園のライオンバスなど、今までにないところを選びました。そして我がクラブの「お茶サークル」の皆様にも本格的なお茶席を設けて頂くことをお願いいたしました。宮崎会長はじめ阿部会員を主にして皆様にお世話になります。きっと喜ばれると思います。8月28日午後1時からエルシーです。是非見学においでください。

8月31日の演奏会につきましては、5月末にはご案内が出来ると思いますので、八王子―ケムニッツ交流演奏会をお楽しみ頂き、ご支援と応援をよろしくお願いいたします。大高会員、松尾会員、武田会員、有泉会員が合唱団のメンバーで頑張りますので応援をよろしくお願いいたします。

また機会がありましたらケムニッツに訪問をいたしました折のレポートを読んで頂きたいとおもっております。

掲示板

4/10に池田ときえ会員が「患者の心をいやす絵手紙」を出品してくれていることで、南多摩病院より感謝状を頂きました。おめでとうございます。

編集後記：紙面の都合で荒研修委員長の卓話および立川会員のケムニッツ・オケとの交流の投稿の一部を割愛いたしました。ご了承お願い致します。